平成28年５月９日
動　物　衛　生　課

【OIE情報】台湾における高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について

台湾における高病原性鳥インフルエンザ（H5N2）の発生について、OIEへ報告がありましたのでお知らせします。本報告は2015年１月12日付けの雲林県及び屏東県における発生報告の続報（続報45）です。

【出典】
OIEウェブサイト（2016年５月５日付け）
http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=20131
（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】
・発生数：１件（続報45）
・発生日：2016年４月29日
・OIEへの報告日：2016年５月５日
・血清型：H5N2（高病原性）
・臨床徴候あり

【発生状況】
・発生場所：台南市　關廟区（かんびょうく）の農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
鶏	8,470	3,583	3,583	4,887	0

【疫学情報】
・感染源：不明又は調査中
・異常な死亡率が台南市の１戸の家きん農場で確認され、診断のために検体を家畜衛生試験（AHRI）へ送付、AHRIにおいてH5N2亜型の高病原性鳥インフルエンザであると確認。
・この農場は移動制限下に置かれている。
・感染農場の全ての動物は淘汰され、淘汰後に清掃及び消毒を実施。
・感染農場の半径３km以内にある家きん農場は、３か月間強化サーベイランス下に置かれる。

【対応】
・国内における移動制限
・スクリーニング
・施設等の消毒
・隔離
・淘汰
・ゾーニング
・ワクチン接種禁止
・患畜を治療対象としない

【診断】
・診断場所：家畜衛生試験所（国立研究所）
・診断法：遺伝子配列確認：陽性（2016年５月２日）
RT-PCR：陽性（2016年５月１日）